

吉田町

地形概況

大井川下流左岸の緩扇状地面、湯日川や坂口谷川にそう三角州性低地、砂堆と後背湿地、牧の原台地と丘陵などからなる。旧河道の低い部分は養鰻池に造成され。その面積は広い。地下水位は浅いため湿田が多く、港は掘り込み式である。

地質概況

大井川下流低地で砂礫層があつい扇状地であるが、旧河道は養鰻池に改変された。坂口谷川ぞいはいは砂堆に閉塞された泥層の低地となる。牧の原台地の高位段丘礫層が相良層群をおおい、坂部原礫層とよばれる。侵食が進んでいるが、堆積面は保存されている。

気象概況

年平均気温は推定 16.0℃で、県内でも気温の高い地域である。日照時間も比較的多く、海陸風の循環によって年間を通してしのぎやすい。年平均降水量は推定 2,350mm と県内のほぼ平均と見積もられ、特に春から夏季にかけて全降水量の約半分に達する。

災害事例 地震

- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
全県下で被害を受けた。当地でも住吉では瓦ぶきの家は全滅し、残った板ぶき、かやぶきの家も大方傾いた。与五郎新田・神戸では助かった家は数える程しかなかった。また大地がさけて泥水を吐いた所も多かった。震度は与五郎新田・神戸で7、川尻・住吉で6～7であった。

災害事例 津波

- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震津波
全県沿岸に被害があった。吉田町の海岸では5～6mの高さの津波が襲った。

災害事例 台風

- 1954年9月18日（昭和29年）
全県下特に中・西部で風水害が大きかった。被害は全壊4戸、半壊55戸である。

災害事例 竜巻

- 1986年12月19日（昭和61年）
18日から19日にかけて通過した低気圧により、静岡市で12月の観測史上最高の30.4mの突風を記録した。吉田町では建設会社のプレハブの従業員宿舎2戸が倒壊し、10人が負傷した。
- 1954年9月17日（昭和29年）
夜大井川下流の榛原郡吉田町に上陸、幅50～60mで点々と約8km北方迄竜巻の跡が分る。大きな被害のあったのは海岸から1,800m迄で主なものは、全壊4戸、半壊56戸漁船の損傷若干である。旋回方向は時計回りであったという。